

みなさん、こんにちは。県立生涯学習推進センターメルマガ担当です。

みなさんは、朝ドラを見ることがありますか？

私は、久慈市が舞台になった「あまちゃん」以来、朝ドラをかかさず見ています。先日スタートした朝ドラで、失敗して落ち込む祖母を、「失敗は悪いことやないんやろ？」と言って、孫がなぐさめるシーンに心を打たれました。

なぜ、このシーンに心を打たれたのか…。自分の子育てを振り返って、子どもが興味をもってやろうとしている意欲を、自分の都合や基準で、つぶしてしまったことがどれだけあるのだろうかという思いがこみ上げたからだと思います。さらに、「ノミのジャンプ力の話」とも重なりました。ご存じの方も多いかと思いますが、こういう話です。

～ノミは通常2mの高さまでジャンプするそうです。そのノミに高さ50cmほどの箱を被せると、最初、天井を破ろうと努力をして何度も飛び跳ねますが、何度挑戦しても50cmしか飛べないという限界に気づき、50cmしか飛ばなくなるそうです。そして、そのノミは箱をどけて高く飛べる状態にしても、それ以降は50cmしか飛べなくなるそうです～

我が家の場合、「料理」がそうでした。保育園のお迎えは、いつも一番最後。そして、帰宅後、夕飯、お風呂、寝かせる…をなんとか21時半頃までにと思うときに、「ご飯、一緒に作りたい！」と娘に言われても…(-_-;)。そういうことを何度か繰り返すうちに娘は、「ご飯、一緒に作りたい」とは言わなくなりました…(-_-;)。

「ノミのジャンプ力の話」を改めて調べてみると、続きがありました。

～この飛べなくなってしまったノミを、再び飛べるようにする方法が一つだけあるそうです。それは「自分以上に飛んでいる仲間」の姿を見せてあげること。すると、今まで50cmしか飛べなかったノミが、再び1m以上のジャンプができるようになるということです～

この話で、今までの子育てに希望の光が差し込んだ気がしました。

子どもは、成長し自分の世界を広げていくにつれ、様々な人と関わり、「自分以上に飛んでいる仲間」の姿に触れるたびに、親が作ってしまった「心理的限界」を突破していくのではないかと思いました。「子育て」は親だけでなく、その子に関わる全ての人たちでしていると考えると、気持ちが楽になりました。

「子どものジャンプ力」を信じて、子どもが自分の世界を広げていくときに、支えになることができる親でいたいと、娘と一緒に昼食を作りながら思いました(^_^)

☆子育てに関する悩みを一緒に考えます☆

子育て電話相談「すこやかダイヤル」 0198-27-2134

☆メルマガへのご感想、アドレス変更・配信停止はこちらへ(^_^)/

kosodatem@pref.iwate.jp

★=====★

【発行・文責】岩手県立生涯学習推進センター

【HP】<https://manabinet.pref.iwate.jp/hp/>

【Twitter】<https://twitter.com/manabinetiwate>

★=====★